

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 柳龍一郎SAA委員

◆四つのテスト 森 修司さん

◆ご来訪ロータリアン

◆会長挨拶 中西祥之会長



皆さんこんにちは。世の中は受験シーズン真っ只中ですが、我が家の高校三年生の息子君は、何とか推薦で大学が決まり、卒業式は3月1日なのですが、先週で授業が終了したため、今週から長崎の家に戻ってきました。私と息子君とお犬様での暮らしが始まりました。息子君は4月から東京で一人暮らしが始まりますので、少しは料理を覚えたほうが良いと思います。昨日から夕飯の支度を手伝わせることにしました。何を作ろうか、何を手伝わせようかと考えまして、結局、カレーを作ることにしました。なぜ、カレーにしたのか？それは、私の大学時代の出来事を思い出したからです。私が通っていた大学は、とてもいい加減な大学でして、定期試験は、答案用紙の表は白紙のまま、裏に何か書けばAが取れるという授業がいくつもありました。たとえば、裏に「将来の夢」を書けばよいとか、裏に「これまでの人生で最も楽しかった思い出」を書けば良いとかです。そして、一番思い出深いのが、裏に「美味しいカレーの作り方」を書けばAがとれる、というものでした。野菜や肉を炒めて、水を投入してしばらく煮て、火を止めてルーを入れて、また煮込みつつ、隠し味にソースや牛乳などを入れて煮込めばでき上がり、というのが普通の作りかかなと思います。学生は、皆それぞれ自分なりの隠し味を投入することで美味しくなると答案に書き、何を投入しようかAがもらえるのです。しかも、何かしら書いていけばAがもらえるのです。しかし、この授業の単位を落とした友人がいました。その友人はたいそう憤慨し、教授に文句を言ってくる、と言って意気揚々と教授の部屋に乗り込んでいきました。しばらくして、

その友人は、なぜか納得顔で戻ってきました。その友人が「なんで私だけ単位が取れなかったのですか？」と尋ねたところ、教授はこう答えたそうです。「お前のはカレーになっていない。ルーが投入されていない。これだとただのスープだ。」と。それを聞いた我々は、大爆笑すると同時に、妙に感心してしまいました。「あの教授、答案全部読んでるんだ」と。そんなわけで、カレーの作り方を知らないで単位が取れない授業もあるかもしれない、と思い、昨日は息子君にカレーの作り方を教え、ルーは必ず入れるように！と教え込んだ夜でした。

◆幹事報告 久田松春樹幹事

①例会変更並びに休会のお知らせ長崎北東RC 3/19(水)観桜会の為ザ・グローバルビュー長崎長崎中央RC 3/24(月)観桜会の為吉宗長崎東RC 2/21(金)長崎北東RC 3/5(水)

定款第7条第1節により休会

②理事会報告例会食料金アップの件

通常例会 現行3,000円→3,300円

100万ドル食事 現行2,000円→2,200円

古里理事からの提案で、西クラブは他3クラブと違い、100万ドル食事を年間3回程度しか実施していない。他クラブのように月1回の開催とすれば、値上げによるクラブの負担も大きくは変わらないのではないかと。値上げ並びに月1回の100万ドル食事について承認。100万ドル開催週(固定)については今後協議。

■40周年収支報告の件 総括を含めた最終会合2/25

■地区補助金プロジェクト報告と次年度の方向性

1/23に乳児院への遊具贈呈式を終え、2/25に予定している「光と緑の園乳児院」の吉田慎一院長の卓話で今年度分はすべてが終了する。次年度に向けて、寄贈対象団体などPJ内容について協議。その中で、2/2に実施された同PJセミナーの報告が、尾本会長エレクト、山田孝二次年度理事からなされた。これまでの3年縛りの文言がなく、2年連続での同内容ではNG。仮に同じ施設であっても幼児から小学生など、対象者を変更することが必要。乳児院とは別の他施設と交互に実施していく、などの意見が出された。今後、次年度の新体制で協議していくこととした

■事務局後任の件クラブ内での他薦を待ったがなかった。

→ ハローワークで公募する。

③本日は西会(おかの・18時30分)

◆期首会員数 35名

◆入会者 0名

◆退会者 0名

◆現在 35名

◆2/18例会出席 21名

◆免除者出席 7名

◆欠席 14名

◆出席率 65.63%

◆委員会報告

■出席委員会(尾本会長エレクト) 4/22の例会は全員出席例会となっておりますので、ご予約に入れていただきますようお願いいたします。

◆結婚・誕生・入会祝い 2/16~2/22

【誕生祝】 杠葉輝明さん

■卓話



気象予報士 櫻田雅信さん
(株)ウエザーマップ



「知られざる天気予報の裏側」

◆ニコニコ箱

- 中西祥之さん 櫻田様、本日はお忙しい中、ありがとうございます。楽しみにしております。
- 許斐義彦さん バイオリンの上手な櫻田さん、卓話よろしくお願ひします。
- 野崎地平さん ニコニコのために!

3/ 2(日) IM ザ・グローバルビュー長崎
本会議14時~懇親会16時50分~
3/18(火) 休会
3/25(火) 職場訪問例会 富士フィルム
イノベーションジャパン(株)長崎支社
4/ 1(火) 観桜例会 サンプリエール
4/22(火) 全員出席例会

◆ハイライトよねやま299



現役よねやま親善大使が語る活動の意義

2013年から始まった「よねやま親善大使」制度。今回は第5代よねやま親善大使として現在 活動中の陳瑤チンヨウさん(2012-14/四日市東RC)に、応募したきっかけや活動の意義についてお伺いしました。【陳瑤さんのメッセージ】米山奨学生時代に得た経験は、私の価値観、人生観、世界観に大きな変化をもたらし、物心両面で大きく成長するきっかけとなりました。この事業のすばらしさを広めたい自身が受けた恩恵を次世代に還元し、ロータリーの理念を広める一助になりたいと思ひ応募しました。親善大使として活動する中で、さまざまな人々との出会いがあり、国や文化を超えた交流を通じて視野を広げ、常に学びと成長を続ける原動力となっています。また、自身の奨学生時代の経験や思いを語ることで聴衆の心を動かし、事業への理解が深まり、支援の輪が広がります。自らの言葉の力で人々の意識を変え、行動を促すことが、大使活動の大きなやりがいです。単なる事業のアピール役ではなくロータリーの理念の実践者として、現役奨学生や学友の代弁者としての役割があると感じています。国際理解、親善、平和の推進を加速させ、次世代にその精神を引き継ぐため、重要な懸け橋としての意義があると思っています。これまでの活動を通じて、多くの方から「米山奨学事業への理解が深まった」「もっと寄付したくなった」「寄付の使途が明確で納得感がある」といった励みになるお言葉を頂きました。26月末の任期終了まで、これまで以上に積極的にロータリーの各種イベントに参加し、私自身の経験や思いをありのままに表現し、米山奨学事業の魅力を引き続き伝えていきたいと考えています。ぜひ、一人でも多くの方と共有できれば幸いです。

ニコニコ箱	目標 1,200,000円	2/18	8,000円	累計	576,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	2/18	3,000円	累計	130,025円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	2/18	3,000円	累計	144,000円